

音楽現代

The Ongakugendai

Vol.42

No.11

November

11
クラシック音楽誌



頑張ろう日本!

特集1 アニヴァーサリーな音楽家 Vol.10

生誕150年記念 **クロード・ドビュッシー**

特集2 アニヴァーサリーな音楽家 Vol.11

生誕100年記念 **ジョン・ケージ**

特別インタビュー アーヴィン・アルディッティ、ケージを語る

特別対談 フルトヴェングラーの人間と音楽 (その2)

宇野功芳×野口剛夫

カラー口絵

サイトウ・キネン・フェスティバル松本2012
「火刑台上のジャンヌ・ダルク」「兵士の物語」

京都府立府民ホール/アルティ芸術劇場 vol.1
「井上道義/オーケストラ・アンサンブル金沢」

藤原歌劇団公演「夢遊病の女」

インタビュー

岸本 力

飯田みち代

大原哲夫

他

オペラ劇場あらかわバイロイト
第4回ワグナー音楽祭
舞台祝祭劇「ニーベルングの指環」
序夜「ラインの黄金」

クラシック音楽のメインシーズンとなる秋を迎え、オペラ劇場あらかわバイロイトも音楽総監督クリスティアン・ハンマーの指揮で二つの公演を持つ。

まず10月公演は第4回特別演奏会。ドイツオペラの2大巨匠ワグナーとR・シュトラウスの抜粋が採り上げられるが、これはワグナー生誕200年の来年4月にいよいよタンホイザー全曲を舞台上演するのと、2014年のシュトラウス生誕150年に合わせ「影のない女」を全曲上演するため



クリスティアン・ハンマー



田辺とおる



山賀博之



小畑朱美

の試演とプレイイベントという性格を併せ持つもの。後者は初日のバラクに田辺とおる、バラクの妻に蔵野蘭子など常連の実力派歌手が揃い、また今回初めて本拠地サンパール荒川を離れ、アブリコに進出するのも話題。

そして11月公演は本拠地に戻り恒例リングも三作目、序夜「ラインの黄金」である。この公演の最大の話題は何とアニメ「エヴァンゲリオン」のガイナックスとの共同制作となり、同代表・アニメ演出家山賀博之氏が演出を担当することだろう。「リング」は既に何度も漫画化され、松本零士をはじめ漫画・アニメ関係者に熱烈な信者が多い作品でもあるだけに大いに期待できよう。さらに気鋭の男性コンテンポラリーダンス集団、「コンドルズ」が共演するというが、これらの破天荒なコラボが成功すれば将来はラ・フォル・ジュルネに匹敵するオペラ音楽祭に成長するのではなかろうか。また両公演共、東京国際声楽コンクールの入選入賞者が多数出演するが、声楽に特化したコンクールであるこのコンクールの入賞者は既にオペラ界で

も活躍し始めているようである。

(浅岡弘和)

ト「ラインの黄金」スタッフ指揮…
クリスティアン・ハンマー、演出…山賀博之、オペラ監督…田辺とおる、管弦楽…TIAAフィルハーモニー管弦楽団、キャスト…田辺とおる、小畑朱美、木川田澄、小貫岩夫、羽山晃生、米谷毅彦、杉野正隆、他
ト11/23・14時、24・13時、18時、25・14時、東京・サンパール荒川大ホール
ト東京国際芸術協会 (☎03-3809-9712)